

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こばんはうすさくら江戸川台西教室		
○保護者評価実施期間		2025年7月15日	~ 2025年7月31日
○保護者評価有効回答数 (対象者数)	24	(回答者数)	22
○従業者評価実施期間		2025年9月3日	~ 2025年9月17日
○従業者評価有効回答数 (対象者数)	8	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年9月18日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日々の活動プログラムが充実している。5領域に応じたプログラムを楽しみながら参加できるよう、職員で相談しながらプログラムを作成している。職員間で目的、手順が共有できるようにミーティング、朝礼等での打ち合わせで確認をしている。	プログラムが固定化されないように毎月異なるプログラムを作成している。季節感を取り入れ、各曜日バランスの良いプログラムを作成できるように心がけている。また、プログラムの様子が保護者にも伝わるように毎月こばん通信を発行し、活動の様子を写真付きでお伝えしている。 同じプログラムでも発達段階に合わせた内容や取り組み方法にし、本人が達成感を得られるようにしている。	プログラムの目的や手順を職員全員で共通理解をしてスムーズに進められるように前日までに準備の確認や、必要に応じて事前に打ち合わせをするなど、当日余裕を持って進められる準備を行う。 曜日の関係で同じプログラムを連続で取り組む子は前回の取り組みを踏まえて継続支援もしくはステップアップした内容にするか職員間で相談していきたい。
2	ミーティング等での各種研修会の開催や、外部研修等にも参加する機会を設けている。また、向上心を持った職員が多く、他資格を持っている職員が保育士資格にチャレンジしたり、子どもたちと一緒に成長していくという意識を持って療育にあたっている。	定期的にミーティングを開催し、その中で支援内容、感染症対策、虐待研修等、各種研修会を開催している。勤務状況や継続年数により、対象の職員には外部研修にも参加しやすいよう、費用負担やスケジュールの調整等を行い、各種資格取得や講習受講ができるようにしている。	ミーティングを欠席した職員にも内容の共有ができるよう、議事録の作成や連絡ノートの活用、朝礼や昼礼、終礼での振り返り等でも内容共有をしていく。 外部研修に参加した職員が学んできたことを報告や共有できる機会を設けていきたい。
3	教室には庭があり、近くに公園もあるので、のびのびと遊ぶことのできる環境が整っている。	天気の良い日は積極的に庭遊びを取り入れたり、公園に遊びに行くようにしている。そこで夏はプールなど、戸外ならではの集団遊びや活動を行っている。 活動内容に合わせて室内と戸外どちらで実施するか職員で相談し、適した環境で支援を行うことができるようしている。	日々、環境整備を行い、安全に遊べる環境をつくっていく。 職員間で発達段階に合わせた集団遊びの情報共有を積極的に行っていく。遊び道具の充実を図っていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民や他健常児との交流の機会を持つというところはなかなか難しく、実施できていない。	感染症対策を考えると、まだ近隣でもコロナが発生している状況なので、なかなか多くの人数で一緒に活動するというところが難しい。今のところ受け入れ先もなく、健常児の幼稚園、保育園、学校等との交流はできていない。発達段階を踏まえての交流方法や安全確保の方法、個人情報の問題など、よく検討が必要である。	なかなか健常児の施設との交流は難しいが、まずは同法人内のこばんはうすさくら他教室同士の交流を計画し、普段関わりのない子たちとの交流の機会を設けていきたい。
2	保護者会の開催ができておらず、保護者同士での交流の場の提供が難しい。	感染症対策を考えると、ここ数年は開催ができていない。教室内に多くの人数が集まることを考えると不安がある。 働いている保護者も多くいるので、保護者会を希望している方が参加しやすい日程や時間なども考えていく必要がある。	コロナ前は開催をしていて、とても好評だったので、感染が落ち着いている時期に、少人数で複数回開催をするなどの工夫をし、計画していきたい。 複数回開催の中でも、時間を変えるなどし、参加の機会の幅が広がるようにしたい。
3	子どもの日々の様子や課題についての共通理解の他にも事務的な連絡についての情報伝達が難しい保護者がいる。	送迎時に会うことのできる保護者とはやり取りができるが、保育所を利用している子どもの保護者とはなかなか会う機会がなく、こまめな情報の共有が難しい面がある。 外国籍の方の通所があり、こちらの説明が上手く伝わっていない様子が見られる。また、保護者の方の子育てや発達に関する不安を拾い切れているか分からない。	子どもの様子を見て、共有したいことがあれば電話での連絡やアプリのチャットを活用して保護者と連絡をとるようにしていきたい。日々のサービス提供記録も分かりやすく、詳しく記入するようにしていきたい。 提出書類などは分かりやすく簡潔な文面にしたり、漢字には振り仮名を書くなど工夫をして対応していきたい。 相談支援専門員と連携を取り、不安や悩みの情報共有を行つてていきたい。